

## 2学期、のこりわずかです。。。

3年生の学校推薦型選抜の合否が出てくる季節になりました。来年の今頃、みなさんも同じ状況になっていると想像すると、ドッキリします。9月に実施した進路講演会で伺った、講師の先生の「修学旅行が終わったら進路活動に切り替えよう」というお話を覚えていますか？今、それを実践できていますか？高校生活の大事な時期であることを意識しながら、冬休みを迎える準備をしてください。

### 英語リスニングに関する講演会 \*11月9日(水) \*講師 柴原 智幸 先生

#### [内容]

- ①なぜ英語を学ぶのか？ ②コミュニケーショントレーニング
- ③ディクテーション ④音の壁・意味の壁 ⑤英単語暗記 ⑥音の壁分析 ⑦音読練習
- ⑧歌唱練習、リスニングチェック、質疑応答



#### [感想]

“英語”で一番重要である「コミュニケーション」をペアワークで実際に行い、先生の提唱される4本柱を踏まえたうえで会話を実践しました。すると、相手の存在をしっかりと確認でき、相手の意見を尊重できる、ということ、身をもって体感できました。当たり前のことが、とても大切なことだと再認識しました。

私はリスニングが苦手なので、ディクテーションから意味・音の壁を洗い出し、理解した上でスクリプトに書き込んで弱点を見える化して反復練習に励みたいと思います。また、事前に頂いた資料を拝見し、心当たりのあることばかりでしたので何度も読み返して今回の講演に参加いたしました。その資料には、「英語学習に基本的ルール」から「人生について」まで幅広い内容のもので、特に印象に残っているのが『英語学習についての考え方』でした。

一つ目が、「何のために英語を勉強するのか。」です。主体的な目標を持ち、自分に欠落しているものは何かを考え、継続的に勉強していく習慣を確立することが大切だということ。二つ目は、最初から完璧を求めず、失敗や間違いを恐れないこと。この二つが印象に残っています。そして、三つ目は、本日の講演会の先生から『自分の学びの責任は自分でとる！』のお言葉を頂きました。高校生である私たちが、今勉強していることを役立てられるようしっかりと念頭においてこれから実践していきたいです。

とても有意義な二時間をありがとうございました。

2-2 O.Y

## ■ 12月の行事予定 ■

日	曜	予 定
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	sc
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	sc
13	火	
14	水	
15	木	①～④授業、大掃除、終業式、LHR
16	金	冬期休業～1/9 課外① デザ科課外①
17	土	課外② デザ科課外②
18	日	
19	月	課外③ デザ科課外③
20	火	課外④ デザ科課外④
21	水	課外⑤ デザ科課外⑤
22	木	課外⑥ デザ科課外⑥
23	金	課外⑦ デザ科課外⑦
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	仕事納め
29	木	
30	金	
31	土	大晦日

デザ科卒展  
(コラッセ)

### ●冬期課外について

12月16日(金)から7日間、国・数・英の課外を実施します。

大学入学共通テストまで、約1年です。あと12か月間で何をどのように学習していくかシミュレーションしよう。自分自身の進路のために、学ぶ意識をしっかりとって参加してください。

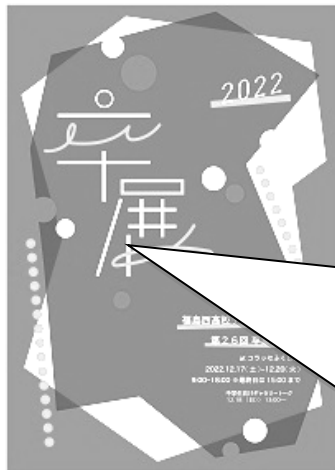
### ◎デザイン科学科課外について

冬期課外と同日程で、午後から7日間の課外です。各コース担当者の指示をよく聞いて、中身のある制作活動を行いましょう。

### ■生徒指導部より

冬に気を付けて欲しい以下の点について、ご家庭でも確認をお願いします。

- ・リボンの加工は認めていません。
- ・学校指定でないセーター(黒・紺)は、ブレザーの中に着用する場合のみOKとしています。
- ・平常時にストッキングを着用する場合、色はベージュのみ。タイツは黒・紺を認めます。



### デザイン科学科 第26回「卒展」

- ・12月17日(土)～20日(火)  
9:00～18:00  
\*最終日は15:00まで
- ・コラッセふくしま3Fにて

3年間の学びの集大成となる展覧会です。  
絵画、彫刻、デザイン、映像など多様な作品を、ぜひ会場でお楽しみください。

\*SC…スクールカウンセラー来校日

### コラム

▼この季節、体に白いフワフワの毛を生やし、舞うように飛ぶ姿が愛らしい虫を目にする。雪が降るのを知らせると言われる通称「ユキムシ」だ。正式名はトドノネオオワタムシ。カメムシ目アブラムシ科の昆虫で、生態が大変興味深く、ここでは詳しい説明を省くが、とにかく面白い生き物なのである。▼どんな習性を持っていたとしても、地球上の生物は全て「世代を繋ぐため」に生きている。ユキムシの不思議な生態も、面白いだけでなく、彼らが生を繋ぐための意味があるのだろう。人間も世代を繋ぐ過程の中で、知恵を使って道具を作り、住処を作り、文化や歴史を築いてきた。自分や家族、仲間を守ろうと、酷い争いも起こしてきた。ただ、知恵を持つがゆえに自分たちのまずさも自覚し、改善して繋ぐようとする意志も持っている。▼近年、様々なニュースを目にする中で、人間に対して「なぜ」と問いたくなる場面が多いが、必ず何らかの理由があるはずだ。そして、私たちが学ぶのは、知恵の使い方を知り、なぜ？に対する答えを探して幸せな形で次に繋ぐ力を得るためではないかと思うのである。▼進路のことを考えると、どこか落ち着かない気分になるこの冬。フワフワと宙を舞うユキムシを見つけたら、彼らなりに生を繋ぐその姿を楽しみつつ、ぜひ「学ぶこと」について考えてみて欲しい。